



岡山県高P連会報

contents

会長挨拶	1
会長研修会	1
岡山県高等学校PTA指導者研修会	2
PTA活動の紹介	3～6
令和6年度行事予定	6
県からのお知らせ	7
生徒総合補償制度の御案内	8

発行 岡山県高等学校PTA連合会
事務局 〒703-8258 岡山市中区西川原251-1
おかやま西川原プラザ別館内
TEL 086-230-1213 / FAX 086-230-1835
URL <http://www.okayama-koupren.jp>
E-mail info@okayama-koupren.jp

No. 81

塞翁が馬

岡山県高等学校PTA連合会会長
(岡山操山高等学校PTA会長)

菊地潤



平素より皆様方にはPTA活動
に対しまして多大なるご支援、ご
協力を賜り厚くお礼申し上げます。

『子どもはどう抗っても、親の影響を受けてしまう』、『あの、つるつるしただけの、こんにゃくだって、だし汁に漬けたければ味が沁みってくるんだ。親に育てられて、影響を受けないわけがないだろうが。』これは、ベストセラー作家、井坂幸太郎さんの著作『オー！ファーマー』の一節です。最近二十歳になった息子の話し方や、仕草が私に似てきました。こう育てようと意識はしていません。子は親の鏡だなと感じております。

「二十歳の集い」前日に、小学

校の友人たち4人が、タイムカプセルの中に入れていた息子が自身宛て宛てた手紙を我が家まで持ってきてくれました。中学校でみんなとは別の学校に進んだ息子の事を忘れず、届けにきてくれたことに感動しました。そんな優しい友人たちと違う学校を選んだことが良かったのか：

「塞翁が馬」は中国の故事です。人生とはどんな出来事が福となるか、禍となるかわからず、予測がつかないと言うのが本来の意味です。しかし、私は「今は不幸な境遇にあったとしても、また必ず幸運がやってくる。」という言葉として受け取っています。この時期、高校3年生の子どもたちは、進路の選択に迫られています。中には自分では望んでいなかった道に進む子どもたちもいるでしょう。しかし、どんな時も決してネガティブに考えず、いつかこの選択が幸せに繋がると信じて、前向きに進んでもらいたいと思います。

子どもたちに良い影響を与えられるように、保護者の皆様のサポートが重要なものでは無いでしょうか。私も3人いる我が子たちに、こんにゃく以上に味が沁み込ませられる、だしが効いた父親でありたいと考えております。

会長研修会

令和5年10月28日(土)ピュアリティまきびにおいて、県内高校から46名のPTA会長が集まり、来賓に鍵本芳明県教育委員会教育長、藤岡隆幸県高等学校長協会副会長御臨席のもと「令和5年度岡山県高P連会長研修会」を開催しました。菊地潤会長の開会挨拶に続いて、来賓祝辞では、鍵本県教育長から「現在、各高校では課題解決型の探究学習に取り組んでおり、活動を行っていく上では「自信や意欲」「コミュニケーション力」「粘り強さ」などテストでは測ることができない力「非認知能力」



【菊地会長 挨拶】

力」を育成していくことが今後一層重要になっていく。学校と家庭を結び架け橋として学校の先生や地域の方々と連携・協働して効果的なPTA運営や取組をお願いしたい。」と、続いて藤岡高校長協会副会長からは「コロナ禍で生まれた新しい生活様式を踏まえて魅力ある高校教育を築いていく必要がある、各学校を活性化するためアイデアなど皆さんの知恵を校長まで届けて欲しい。」と、それぞれ要望がありました。

続いて、競泳 池江璃花子選手の母で幼児教室代表・東京経営短期大学こども教育学科特別講師の池江美由紀氏が「あきらめない『強い心』をもつために」と題して講演されました。「人間の脳はいつも使う顕在能力と無意識で使う潜在能力がある。氷山で言えば見えている部分が顕在能力、海の下に沈んでいる膨大な部分が潜在能力だ。『あなたならできる、まだ使っていない素晴らしい力がある』と暗示の言葉を伝える、常に前向きに『できる』イメージを持たせることが大事」など子育ての秘訣を伝えていただきました。講演後の質疑では、「自己肯定感が低い子にどうやって自信をつけさせることができるか」との質問に「でき



【講演 池江美由紀氏】

る、できる、心配を『わくわく』に変える、いつまでも親はあなたに味方で最大の理解者だよ、と声掛けをしてあげる。」など、何事も常に明るく前向きに考えることが大事であると教えられ、子どもに対する親の姿勢を改めて考えるきっかけになりました。

分散会では6会場に分かれて、講演の感想やコロナ禍でのPTA活動の状況などPTA運営上の課題等について熱心に話し合いが行われました。最後に、赤瀬健副会長が「右脳も左脳もしっかり鍛えたい。この後の情報交歓会でしっかり交流し各校の課題など意見交換をしていただきたい。」の閉会挨拶で研修会を終了いたしました。

岡山県高等学校PTA指導者研修会

令和5年11月24日（金）ピュアリテイまきびにおいて、各高校から125名のPTA役員・教職員が参加し、県教育委員会と共同で研修会を開催いたしました。県教育庁人権教育・生徒指導課の横山智康課長、県高P連の菊地潤会長の開会挨拶に引き続き県教育庁人権教育・生徒指導課及び生涯学習課から行政説明があり、続いて少人数グループに分かれてのワークショップを行いました。

次に、宝塚大学看護学部教授 日高庸晴氏から「LGBTQ+の児童生徒の存在を認識した学校での取組み」と題して講演がありました。

講演では性的マイノリティの方々を取り巻く国内外の状況や今後の課題、教育現場で行うことのできる支援等についてアンケート結果等、具体的なデータを基にお話しいただきました。

ワークショップでの情報交換では活発な意見交換が行われるとともに、他校のPTA活動を熱心に聞き入る参加者の向上心の高さに

関心いたしました。また、研修会後のアンケートでは「LGBTについて知識を深めることができ新たな課題も考える機会となった」「普段他校の保護者や先生と話す機会はないので大変勉強になった」「今の子どもたちはスマホありきの世代なのでマイナス面ばかり見ず子どもと関わりたいと思った」「悩みは同じ、時代の流れを理解しながら信じていくことの重要性」「他校の役員選出方法など興味深い話が聞けた」「他校のPTA活動や課題など共感でき参考になった。共有した情報は学校で報告し活かしていきたい」などの意見がありました。



【講演 日高庸晴氏】

今後も参加者が学んだことを会員で共有しPTA活動につなげていくことを意識できるような研修にしていきたいと考えます。

PTA活動の紹介

創志学園高等学校

本校は、平成22年に校名変更し、普通科と看護科を設置する高校です。「大学進学」「スポーツ・芸術表現」「看護教育」の3本の柱とし、夢・挑戦・達成を行動指針として生徒主体の楽しい教育が進められています。

また、令和6年4月には、新校舎が完成し、普通科に理数特別コースも新設されるなど、教育内容もリニューアルされます。実験室やプレゼンテーションホールなど、新校舎の設備を駆使し充実した学びが展開されることを、生徒も保護者も心から期待しております。

さて、本校のPTA活動として、文化祭ではバザーを開催しております。昨年はコロナが明け久しぶりに開催することができました。また体育祭での飲料配布、保護活動として校外の見回り、そしてPTA研修では広島のホテルコース

記念館に行き貴重な体験をさせていただきました。このような大切な活動内容を、広報部が新聞作成などを通じて全保護者にお知らせしております。



PTA研修

これから地域の方のご協力をいただきながら、先生方と保護者の橋渡しをし、PTA活動を通じて生徒の教育を支え、成長していきたい学校づくりへの貢献を目指していきたいと思っております。

吉備高原学園高等学校

本校は岡山県と民間の教育機関で構成された学校法人が運営する男女共学・全寮制・普通科の高等学校です。「全寮制による全人教育とコース制による個性尊重教

育」を建学の精神に掲げ、平成3年に創立されました。全国各地から生徒を受け入れていることから、PTA活動も他校のように、頻繁に集まって、というわけにい



文化祭

きません。しかしながら「普段離れている分、何とか子どもたちの力になりたい」という熱い気持ちの方が多く、その都度、協力的に活動に携わっていただきました。特に文化祭のPTAによる模擬店では、コロナ禍明けで、十分な引継ぎがないにも関わらず、バザー、やきそば、おにぎり、からあげ、フランクフルト、お茶、ポップコーンと多種類の商品を売り上げていただきました。また、その売上金から、寮生活で使う、「ヘアドライヤー」や「IHヒーター」を購入し、プレゼントしていただきました。2月には久々に懇親会を予定しています。「吉備高原学園高校親の会」を発足させ、保護者同士の親睦の場として、また教員が保護者のご意見を聞く場として、有意義な会になれば、と楽しみにしています。

玉野高等学校

玉野高等学校は昭和14年に開校して今年で84年目を迎え、広く国内外で活躍している卒業生約2万6千人を輩出している歴史と伝統のある普通科高校です。令和3年度からは単位制を導入し、2・3年次には「自然科学・医療科学・人文科学・地域科学・芸術科学」の5つの系列による教育課



玉高祭

程を編成しています。「熱く、温かく、いきいきと」を合い言葉に、思いやりの心を持って自分の大切さとともに他者の大切さを認め合える人、社会で求められる人になれるような「人格の完成」を目指しています。

本校のPTA活動ですが、今年度は体育祭でのドリンク販売と玉高PTA通信の発行を行いました。まず体育祭でのドリンク販売ですが、昨年はコロナ禍の影響の中、3年生の保護者のみの観覧となり少し寂しい感じでしたが、今年は4年ぶりの通常開催が行うことができ、生徒・保護者・地域の皆様と楽しい時間を共有することができました。玉高PTA通信は11月に発行し、玉高祭（文化祭・体育祭）での子供達の生き活きと

倉敷翠松高等学校



PTA通信

した写真を中心に作成しました。これからも先生方、地域の皆様とともに、生徒達が安心・安全に楽しく学べる学校づくりができるよう、共に取り組んでいきたいと思っています。

本校は、明治17年の創立で、令和5年に創立140周年を迎えました。昭和45年からは全国に先駆けて茶道を正課に取り入れ、令和元年には50年の節目を迎えました。生徒たちは茶道の精神である「和敬清寂」の心を学びつつ、普通科、商業科、生活科学科、看護科の4学科（9コース）から自分の適性や進路に応じて学科・コースを選択し様々な学びや経験を積んでいます。

さて、本校の保護者会は「奨学会」と称し、会長並びに役員が中心となって様々な活動を実践しています。PTA総会や役員会をはじめ、翠松祭（学園祭）・地域感



翠松祭



謝デー・挨拶運動・清掃活動など、各種学校行事への活動支援の他、PTA保護者研修会の企画運営などにも当たっています。例年9月に開催される翠松祭は、ここ数年

新型コロナウイルスの影響で中止や規模縮小を余儀なくされてきましたが、本年度は4年ぶりに参加することができました。学園祭を知る役員がほほいさない中での再開となりましたが、OB役員の方々の支援も受け、恒例の餅つきやバザーなど、ほぼコロナ前の規模で実施することができました。また、地域への感謝を表す行事「地域感謝デー」では、生徒たちが様々な販売ブースやアクティビティを展開する中、食品販売ブースなどを運営しました。子供から大人まで多くの地域の方々とも交流することができました。

倉敷翠松高等学校 奨学会は、「保護者も生徒と共に楽しく学ぶ」をコンセプトに、様々なPTA活動に積極的に取り組み、生徒の学舎を支える最高の応援団であることを目指しています。

鴨方高等学校

本校は、明治41年4月に村立観生女学校として創設され、戦後の学制改革により、昭和23年に男女共学の県立鴨方高等学校として新発足して、平成8年入学生からは、県下で初めての総合学科を開設し、現在に至っております。

本校のPTA役員は、会長1名、副会長3名、各学年のクラス



体育祭



から2名ずつ選出された委員計、22名で構成されています。お仕事を持たれていたり、幼い子どもさんの保育やお年寄りの介護があったりと、お忙しい中にもかかわらず

ず御協力いただいています。新型コロナウイルスが5類となりましたが、コロナ禍以前、例年PTA活動として行っていた文化祭での模擬店はコロナ禍と同様、一般公開されなかったため中止となりました。体育祭は保護者の観覧が可能になり、今年度初めてPTA役員によるジュース販売を行いました。

また、今年度は備西地区PTA連合会の事務局として11月29日に秋季総会を実施しました。総会後、研修会（講演会）として、シバセ工業株式会社代表取締役社長磯田拓也氏より「ストローは浅口発祥ストローから始まったプラゴミを考える」と題して講演をしていたきました。

未だにコロナ禍以前の活動ができていませんが、来年度以降は徐々に活動を広げていきたいと考えています。

総社南高等学校

本校は、古代吉備の国の中心地とされる総社市の南部に位置し、美しい自然と多くの史跡に囲まれた素晴らしい環境の中にあります。校訓「誠実・友愛・創造」の精神を継承しながら、人格の完成をはかるとともに、グローバル社会で活躍し、その発展に貢献する人材の育成に取り組んでいます。

今年度は、備北地区PTA連合会の事務局校として11月29日に指導者研修会を開催しました。講師として玉野SDGsみらいづくりセンター理事長 東りえ先生をお迎えし、『高校生提言事業』から見えてきた未来づくり』と題し講演をいただきました。住んでいる地域を持続可能な町にするため、次世代を担う高校生の活動を中心に据え、自主的に活動していけるよう全力で応援していくその情熱に感銘を受けました。また情報交換では、PTAへの加入や役員選出の方法について各校の現状を情報共有し、今後のPTAの在り方を考えるよい機会となりました。



講演会

また、今年度より保護者の方を対象とした学校ボランティアを開

始しました。まずは、校内美化や環境整備として校内敷地での清掃活動や花植えに有志保護者が参加しました。



花植え

来年度からもPTA会員同士の連携を深めながら、南翔祭DVDの制作を継続した上で、さらに子どもたちのために活動の幅を広げて参りたいと思います

真庭高等学校 久世校地

真庭高等学校は真庭市の南東部に位置し、真庭市は市の面積の約80%を森林が占めており古くから木材の産地として有名です。現在ではバイオマス産業都市の先進地となっています。

本校地は昭和23年に創設された

久世高等学校を前身とし真庭高校久世校地として発展してきました。令和3年には10周年を迎えることができました。学科は生物生産科・食品科学科の農業を主体とした2科を設置しています。生物生産科では花、野菜、水稲の生産や和牛の飼育、食品科学科では味噌、パン、焼菓子、肉加工品の製造等を行っています。

さて、本校地のPTA活動ですが、年に3回の評議員会、5月に行う総会、落合花火大会や勝山祭り、久世祭りの巡回補導を行っています。また、11月に開催されるきら、祭文化の部へバザーの出店を行っています。文化の部では、十数年前から焼きそばの出店を行っており、生産物のキャベツと鶏肉をふんだんに使った蒜山風焼きそばは、文化の部の名物になっています。出店はPTA役員だけではなく保護者の方全員に呼びかけ、参加人数が少ないようであればさらにメールでの呼びかけを行っています。毎年十数名の参加があります。中には毎年参加してくださいる方もおられます。

本校地は本年度を最後に落合校地と校地統合となり閉校地となりますが、文化の部でにぎやかに作った焼きそばの思い出はずっと生徒・保護者の記憶に残っていると思います。



きら、祭文化の部

令和6年度行事予定

岡山県高等学校PTA連合会 表彰式・総会・研修会

6月20日(木) 13時～16時 ピュアリティまきび

岡山県高等学校PTA連合会 会長研修会

8月3日(土) 13時30分～17時30分 ピュアリティまきび

岡山県高等学校PTA指導者研修会

11月 日時は未定 ピュアリティまきび

第66回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会高知大会

日時 7月12日(金) 9時45分～16時

会場 高知県立県民文化ホール

※県高P連として交通、宿泊プランを企画しています。



第73回全国高等学校PTA連合会大会茨城大会

日時 8月22日(木) 12時00分～・23日(金) 12時30分

会場 アダストリアみとアリーナ 他4会場

※県高P連として交通、宿泊プランを企画しています。



県からのお知らせ

自転車の安全利用・保険加入について

自転車の安全利用

自転車も自動車と同じく車両の仲間です。思いやり、ゆずりあいの気持ちでルールを守り、安全に利用しましょう。

【自転車安全利用五則】

1 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先



2 交差点では信号と一時停止
を守って、安全確認



3 夜間はライトを点灯



4 飲酒運転は禁止



5 ヘルメットを着用



自転車もヘルメットをかぶりましょう

自転車に関係する人身事故では、**自転車利用者の多くが頭部を負傷**しており、**ヘルメット非着用時の致死率は、着用時と比べて約2.2倍(※)**も高くなっています。
改正道路交通法により、令和5年4月1日から**自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務**に！
万が一の事故から身を守るためにも、自転車に乗るときにはヘルメットをかぶりましょう。

※平成29年～令和3年合計(警察庁資料)

ヘルメットで
身を守りましょう!!



岡山県マスコット「うらっち」

自転車も保険加入を！

自転車は交通事故の被害者になるばかりでなく、相手方の自転車利用者や歩行者にケガをさせた場合には、加害者になってしまいます。

また、自転車で事故を起こし、**裁判で1億円近い賠償を命じられたケース**もあります。

交通ルールを守り自転車を安全に利用することはもちろん、交通事故に備えて、**自転車損害賠償責任保険(共済)に加入**をしておく心安いです。

【自転車対象の保険としては、例えば次のようなものがあります】

- 会社等の団体構成員向けの保険や、PTA・学校が窓口となる保険
- 自転車向けの保険(共済)
- 自動車・火災・傷害保険(共済)等に付帯する個人賠償責任補償特約等
- クレジットカードに付帯する個人賠償責任補償
- 自転車の車両に付帯したTSマーク保険(点検基準日から1年間)等

※すでに加入している保険が自転車の加害事故を補償の対象としているかわからない場合は、保険証券を用意してご契約の保険会社等にお問い合わせください。



岡山県教育庁保健体育課 086-226-7591(学校での交通安全教育に関すること)

岡山県くらし安全安心課 086-226-7292(自転車安全利用五則、保険加入に関すること)

ご存知ですか？ お子さんの大学等への進学を考えているご家庭へ

高等教育の修学支援新制度

国の「高等教育の修学支援新制度」は、「**授業料・入学金の免除または減額**」「**給付型奨学金の支給**」の2つの支援により、大学や専門学校などで安心して学んでいたため
の制度です。進学前から申請することができます。
詳しくは文部科学省のホームページをご覧ください。

対象者の要件や対象となる大学等をご確認ください



(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm)

生徒総合補償制度

(学生・こども総合保険)

特長

こんなときにお役に立ちます。

☆国内外を問わずさまざまなケガや賠償事故を補償

令和6年度新1年生募集プラン

補償期間(保険期間)は令和6年4月23日午前0時より令和9年3月31日午後4時まで

保険金額と保険料

団体割引 15%適用

●前年度でご加入いただいた被保険者の人数によって割引率が適用されます。

② 天災危険補償特約：地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガを補償

補償内容		セット名	S	A	B	C
携行品損害補償			20万円	15万円	10万円	—
傷害保険金	死亡・後遺障害保険金額		152.7万円	140.5万円	125.6万円	102.7万円
	後遺障害	後遺障害保険金は、後遺障害の程度に応じて、死亡・後遺障害保険金額の4%～100%をお支払いします。				
	入院保険金日額(1日につき)		4,000円	3,000円	2,000円	2,000円
	手術	手術を受けた場合は、手術保険金(入院中に受けた手術の場合は入院保険金の日額の10倍、それ以外の手術の場合は入院保険金の日額の5倍)をお支払いします。				
通院保険金日額(1日につき)			2,500円	2,000円	1,000円	1,000円
「天災危険」補償(地震等②)			○	○	○	—
熱中症危険補償			○	○	○	○
「細菌性食中毒およびウイルス性食中毒」補償			○	○	○	—
育英費用保険金額			200万円	100万円	50万円	30万円
賠償責任保険金額 (記録情報限度額：500万円)			2億円	1億円	5,000万円	5,000万円
一括払保険料			44,700円	35,700円	23,700円	17,700円
制度維持費【3年分】			300円	300円	300円	300円
保険料・維持費合計 一括払(ご卒業までの3年分)			45,000円	36,000円	24,000円	18,000円

示談交渉 サービス付き(国内のみ)

相手方との示談交渉も
保険会社にお任せください。

●この書面はご加入に関するすべての内容を記載しているものではありません。詳細はパンフレットをご覧ください。
ご不明な点については、パンフレット「生徒総合補償制度」をご覧ください。下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせは

引受幹事保険会社／代理店・扱者	引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社 岡山支店 岡山第二支社 〒700-8660 岡山市北区幸町8-22 TEL 086-225-0583 代理店・扱者：三井住友海上エージェンシー・サービス株式会社 岡山支店 〒700-8660 岡山市北区幸町8-22 TEL 086-221-2576	三井住友海上火災保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 Chubb損害保険株式会社

事故の際のご連絡先

24時間365日事故受付サービス「三井住友海上事故受付センター」
0120-258-189(無料)

事故は いち早く

ご連絡の際は、「岡山県高等学校PTA連合会の学生・こども総合保険に加入しています」という旨をお申し出ください。

保険金の請求に関するお問い合わせ 三井住友海上火災保険株式会社 関西傷害疾病第二保険金お支払センター
TEL 06-6229-2628 月曜日から金曜日(祝日除く) 9:00～17:00